

広報NOSAI福井

ほなみ

2022.1

第66号

～穂波～
豊作の美しい景色が
毎年続きますように



特集「ほっこりもっちり 福井のお雑煮」

農業見聞 越前水仙振興プロジェクト
「ノカテ」代表 高橋 要さん



備えの種を
まこう。

迎春

二〇二二



組合長理事
岡田 高大

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年にも全国各地で自然災害が頻発し、本県においても7月29日の大雨による土砂災害や風水害が発生し、共済金の早期支払いを行いました。

一方、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の影響による農業生産物の価格低下は深刻な状況となっております。あらゆるリスクに対応できる収入保険の必要性が高まる中において、県や一部の市町では保険料を補助し、収入保険の普及拡大を図ることとしています。多くの農業者の皆さまの加入をお願いいたします。

NOSAIは今後も農業者のためのセーフティネットとして、収入保険と農業共済の普及拡大に役職員一丸となり邁進してまいります。

皆さまの一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、本年が本県農業にとって良い年となりますよう、また、皆さま方に幸多き年となりますよう、心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



損害評価会 会長
戸田 久和

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より損害評価会委員ならびに損害評価員の皆様におかれましては、損害評価に特段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

地球温暖化により全国各地で豪雨災害が頻発し甚大な被害が発生しています。最近では「数十年に一度」や「これまで経験したことのない」といった言葉を耳にすることが多くなったと感じています。

本県におきましても、昨年1月の大雪によりハウスの倒壊が相次いだほか、7月下旬から8月にかけて大雨に見舞われ、河川が氾濫し土砂の流入や冠水した圃場の損害評価を実施いたしました。あらためて自然災害の猛威を目の当たりにしたところ です。被災された方々にはお見舞いを申し上げるとともにいち早い復旧を願っております。

本年も組合員の負託にこたえられるよう、公平で適正な損害評価に努める所存です。

皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



本年もよろしく

お願い申し上げます

組合長理事

岡田 高大

専務理事

坂田 和洋

業務担当理事

白崎 逸朗

理事

松崎 晃治

理事

坂本 憲男

理事

寺井 由治

理事

瀬戸川 善一

理事

田中 正志

理事

森塚 美智子

代表監事

石山 志保

監事

増田 仁視

令和3年度

農業共済功績者表彰

「安心の未来」 拡充運動令和3年度全国NOSA大会において、共済事業の発展に貢献された皆様の全国表彰（180名）が行われ、本県からは、4名の方が受賞されました。



損害評価会委員
坂下 正晴 氏
(南越前町)



前損害評価会委員
松川 三郎 氏
(大野市)



損害評価会委員
瓦 惣一 氏
(坂井市)



損害評価会委員
岩崎 雄二 氏
(坂井市)

損害評価会 会長
戸田 久和

損害評価会 会長代行
青山 武男

損害評価会 農作物共済部会長
野路 俊勝

損害評価会 畑作物共済部会長
木村 繁

損害評価会 果樹共済部会長
平嶋 康一

損害評価会 家畜共済部会長
瓦 惣一

損害評価会 園芸施設共済部会長
岩崎 雄二

損害評価会 任意共済部会長
野田守之丞



写真提供：御食国若狭おばま食文化館

埼玉県上尾市



じるぶん か けん
すまし汁文化圏

福井県福井市



した
みそ仕立て文化圏

鳥取県



あずき
小豆汁文化圏



丸餅・角餅
分岐ライン

- 角餅・焼く
- 角餅・煮る
- 丸餅・焼く
- 丸餅・煮る
- あん餅・煮る

参考文献：奥村彪生著「ふるさとの伝承料理 11」農山漁村文化協会

ほっこりもっちり 福井のお雑煮

お正月の伝統といえば、おせち、初詣、お年玉…そして、お雑煮が欠かせません。

今回は、雑煮の文化について、小浜市にある御食国若狭おばま食文化館や福井県の食文化を研究している仁愛大学の佐藤真実准教授のご協力のもと、福井県のお雑煮事情について調査しました。



昔ながらの変わりダネ

【食べられている地域】

若狭町上中地区周辺

若狭町上中地区周辺では、定番の味噌仕立てのお雑煮に砂糖や黒砂糖をかけて食べる習慣があります。しかし、現在ではその食べ方も少なくなっており、定番のようにかつお節を入れて食べる方が多くなっているようです。



福井の定番は味噌仕立て

【食べられている地域】

県内全域

福井の定番のお雑煮は、昆布だしに味噌仕立ての丸餅をいたしたもの。かつお節をかけて食べます。山間部などでは、旬の野菜（かぶ、さといも、大根）など地元の特産品を入れるところもあります。



ひそかに人気なすまし汁派

【食べられている地域】

三国町、永平寺町、福井市、勝山市などの一部地域

三国町や勝山市内などの一部では、昆布だしにお醤油を入れたすまし仕立てのものを食べる場所がありました。基本的には具がないシンプルなものですが、彩りにカマボコや海老、ニンジンなどの野菜を入れるところもありました。



全国と福井のお雑煮の傾向

御食国若狭おばま食文化館には、全国各地のお雑煮が常設展示されています。

同館の学芸員一矢典子さんによると、正月料理の主役は雑煮で縁起を担いだ食材が多く使われています。

また、餅の形と汁の味付けを見比べると、東日本は角餅・醤油仕立てが多いのに対し、西日本では丸餅が多いのが特徴です。西日本の汁の味付けは、関西や福井県の大部分が味噌仕立てですが、福井県の一部や九州、四国では醤油仕立てです。

全国的にみると、味噌仕立てのところは右の図にあるように、少数派であることもわかりました。

また、福井県のなかでも嶺南の一部では、砂糖を入れるところがあると教えていただきました。昔は砂糖がとても高価なものだったため、その砂糖をたくさん入れた雑煮は豪華な食事として習慣が受け継がれてきたのではないかと話してくれました。

御食国若狭おばま食文化館には、全国各地のお雑煮のレプリカが51点展示されています。

雑煮文化の始まりから各地のお雑煮事情まで詳細に見ることができ、近頃に行かれた際は、ぜひ訪れてみてください。



御食国若狭おばま食文化館

福井のお雑煮文化

仁愛大学人間生活学部健康栄養学科で福井の食文化について研究している佐藤真実教授は、福井の雑煮文化を明らかにするために、学生が食べている雑煮の現状について調査しています。

全国のお雑煮は、宮中や公家で定着していた年中行事「歯固め」による長寿を祈るとともに、神体に擬せられる神聖な餅を雑煮にいれて神人共食を祝うものです。豪華なつくりや語呂のよいものを入れているところが多いですが、福井県では、丸餅だけのところが多く、年神様や先祖への感謝の気持ちとして、丸餅をみんなで楽しむという習慣のみ伝承されたのではないかと教えていただきました。

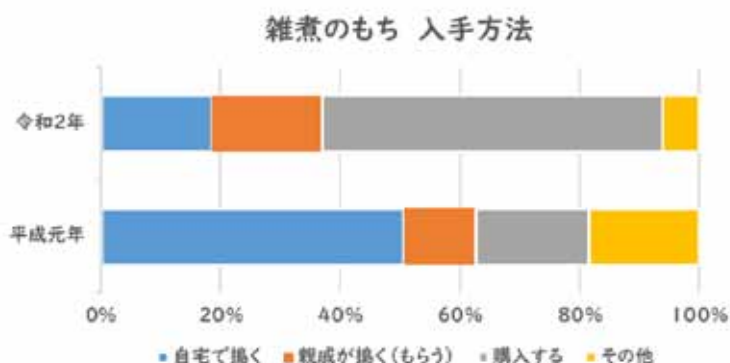
佐藤准教授は、「福井県は昔から稲作文化が盛んな土地で、農業といえは米単作以外になかった」と話します。そのため、米や、魚、加工品などと物々交換でお互いに必要なものを必要とする分だけ交換する「助け合い」「おすそわけ」の文化がありました。また、かつて「正月を迎えるために一俵程の餅をつく」「正月はみな餅を腹いっぱい食べる」土地柄であったそうです。みんなで餅をついて、みんなで分け合い、みんなで餅本来の味を楽しむ傾向が強に残っているのではと教えていただきました。

現在でも福井県内出身の学生は、雑煮の餅を家族でついたり、親戚についてもらっていると

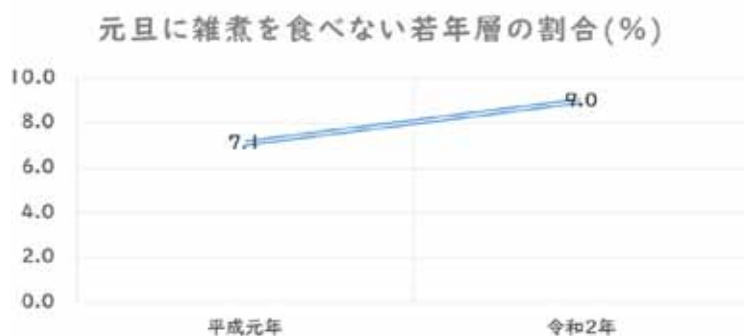
いう家庭が3割ほどあるとのこと、餅をみんなでつく習慣は続いているようです。

佐藤准教授が毎年学生に実施している雑煮についてのレポートでは、年々「雑煮を食べない」と答える学生が増えてきているそうです。

「伝統的な文化が消えていくのは悲しい。当たり前にある田園風景も、昔から受け継がれてここにあることを奇跡と考え、稲作を中心にした福井の食文化を大切に守っていくことをもつとみんな考えていくべきだ」と佐藤准教授は話してくれました。



仁愛女子短期大学 谷洋子研究室：平成元年 卒業論文「福井県の行事食についてー正月料理ー」
仁愛大学 佐藤真実研究室：令和2年「福井県の雑煮に関する調査」



仁愛女子短期大学 谷洋子研究室：平成元年 卒業論文「福井県の行事食についてー正月料理ー」
仁愛大学 佐藤真実研究室：令和2年「福井県の雑煮に関する調査」



〈プロフィール〉

佐藤 真実

埼玉県出身。現在は福井市在住。

福井県の食文化を研究しており、「福井県の伝承料理に関する研究」などを始め、福井の郷土料理や食文化を次世代に残すための基礎調査を実施しています。

大学で管理栄養士の養成をしながら、調理を通して、地域との交流活動など福井の食文化の伝承と継承に貢献しています。



福井県出身学生の食べている特色のある雑煮
右) 坂井市在住。海苔をのせて食べている
左) 福井市在住。ごはん茶碗を器にしている

知っていますか？ 福井のもち米生産

福井県では、毎年 38 ㍑ のもち米が生産されており、そのほとんどが県内で消費されています。福井県民は餅好きが多く、消費量もトップクラスです。

福井県で作られているもち米は主にカグラモチとタンチョウモチの 2 品種です。それぞれ昔から福井で生産されている品種ですが、ほかにも新大正糯や羽二重糯など様々な品種が栽培されています。カグラモチとタンチョウモチを栽培されている農家さんに取材しました。

カグラモチ

刈り取り時期は 9 月中旬。

昔ながらのもち米で、うるち米に近く、おこわやかきもちなどに最適です。

今年産は 8 月の強風により褐変の被害が出た圃場もありましたが、収穫量としては、さほど影響がなく安心しています。

カグラモチで作った餅は、タンチョウモチで作った餅ほど柔らかくならないので、鏡餅やかきもち用に重宝されています。

減農薬で栽培しているので、収量は多くありませんが、安心して食べてもらえるもち米づくりに取り組んでいます。

水稲 40 ㍑ のうち、カグラモチを 6 ㍑ 生産しており、契約栽培のため、全量製菓業者や契約者へ出荷しています。

農事組合法人阿難祖生産組合
(大野市阿難祖領家)
組合長 前田 清司 さん



タンチョウモチ

刈り取り時期は 9 月下旬。

粘りが強いため、餅にすると伸びがよく、なめらかで白く高級な仕上がりになります。

水稲 54 ㍑ のうちタンチョウモチを 2.5 ㍑ 生産しています。

タンチョウモチは正月に食べる白餅に好まれており、餅にした時の伸びの良さと白さのひきたちが特徴です。

タンチョウモチは晩生のため、水管理のできるパイプラインを利用できる圃場で栽培しています。

今年から新たにパッケージのデザインを作成し、販売していく予定なので、気軽に購入してもらえると嬉しいです。

遅い時期までの水管理や、品種混合を防ぐためのコンバインや乾燥調製機の掃除など、気の張ることも多く大変ですが、タンチョウモチを待っていてくれる人のため、これからも頑張って作っていきます。

農事組合法人大川あぐり
(坂井市丸岡町四ツ柳)
代表理事 大川 勝利 さん



水稻共済

への変更となります。

税申告関係書類等で収穫量を確認できる方は

書（助成金申請書）兼 水稻共済加入申込書 兼 変更届出書

市町、各地域協議会、認定方針作成者、北陸農政局、JA、農業共済が使用することに同意すること、及び既に事故が生じているまたはその事故を生じているものでないことを確認

共 済 関 係 選 択						作 物
共済加入の選択 ※1 本地面積10a以上のみ 選択可能		加入方式等の選択 ※2 変更する場合は、複線を引き、記入してください。				大 そ 野 菜
☒ 加入 ☐ 不加入		加入方式の 選 択	一筆半損 特 約	加入区分	補償割合	
自動継続特約 有		全相 半相	○	主食	9 8 割 1 位	

※1 加入については、共済加入の選択をしてください。不加入を希望する方は不加入を申出してください。また、全相殺・品質方式を選択された方については、別途ご案内させていただきます。

令和 年

【加入方式等の選択】

これまで一筆方式にご加入の方は「半相」と印字されています。より補償の手厚い「全相殺方式」をおすすめしています。他方式をご希望の方は、NOSAIまでご相談ください。

詳しくは、配布される水稻共済のチラシを参照してください。

変更の場合、次から選択してください。

加 入 方 式	補 償 割 合		
全相殺方式、品質方式 地域インデックス方式	9 割	8 割	7 割
半相殺方式	8 割	7 割	6 割

【共済金額選択順位】

第1位以外を希望される場合は、下表を目安に選択してください。

参考：令和3年産単価

区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位
主食用米	205 円	185 円	164 円	144 円	123 円	103 円		
飼料用米	40 円	36 円	32 円	28 円	24 円	20 円	16 円	12 円
米粉用米	84 円	76 円	67 円	59 円	50 円	42 円	34 円	25 円

から加入手続きを行いましょう。

災害に備え、水稻共済にご加入ください

水稻共済への加入は、地域再生協議会から通知される「水稻生産実施計画および営農計画書一体化帳票」

水稲共済

「一筆方式」が令和4年産より廃止となりますので、他方式JA等乾燥調製施設におおむね全量出荷されている、または「全相殺方式」に加入しましょう！

水稲生産実施計画書及び経営所得安定対策等交付金等営農計画書

令和4年産水稲作付け、転作耕地の所在及び面積等について下記のとおり申告します。なお、この申告票は、水稲共済について下記により加入申込み（変更の届出）をいたします。申し込みできる農作物の全てであ

市町長名
共済組合長名
協議会長名
生産調整方針作成者名
北陸農政局長名
農協長名
地区名(集落名)
NIC番号
(農家番号)
出荷登録番号

【共済加入の選択】

耕作面積が10a以上で水稲を作付けする農業者は、「加入」・「不加入」の記入をお願いします。

なお、すでに収入保険に加入されている方は、「収保加入」と印字されています。

【自動継続特約】

特約を申し込むと次年産以降も加入となり共済加入の選択が不要となります。前年度、「自動継続特約」を申込まれた方は「有」となっています。

【圃場単位の補償も可能（局地的被害をサポートする）】

【一筆半損特約】

全相殺方式など農家単位の補償方式でも、一筆単位で半損以上の被害の場合に対象となります。（通常掛金に特約部分の掛金が必要です）

二毛作を予定している場合はこの行にご記入下さい。

【掛金等の目安（10aあたり）】

加入方式	最高補償割合	共済金額	一筆半損 特約付の負担額	特約なしの 負担額
全相殺方式	9割	88,560 円	418 円	408 円
半相殺方式	8割	78,720 円	220 円	198 円
品質方式	9割	93,744 円	460 円	452 円
地域インデックス方式	9割	88,560 円	155 円	80 円

※補償単価 205 円/kg、品質方式は令和3年産コシヒカリ1等米（217 円/kg）で計算しています。

※掛金標準率を用いて計算しています。また、負担額は賦課金を含んでいます。

近年の大雪発生状況

平成 30 年 2 月
福井市で積雪 147 cm (平年の **3 倍**)

令和 3 年 1 月
福井市で積雪 107 cm (平年の **2.2 倍**)



令和 3 年 1 月の大雪で倒壊した未被覆のビニールハウス

育苗ハウスは被覆している期間が少ないため、大雪や強風被害に遭いにくいというイメージを持っていませんか？

令和 3 年 1 月に発生した大雪では、短期間で平年の 2 倍を超える積雪を記録し、奥越地区を中心に未被覆の育苗ハウスが全壊するといった被害が発生しました。

また、近年では爆弾低気圧による強風被害も多発しています。今一度、災害に備え園芸施設共済への加入をご検討ください。

園芸施設共済で万全の備えを！

通年被覆のハウスに比べて掛金が大幅に軽減されます！

育苗ハウスは年間を通して被覆しているハウスに比べ被覆期間が短いため、掛金が大幅に安くなります。安い掛金でも年間を通して補償しておりますので、冬季の未被覆期間の事故も補償対象となります。

◆掛金の目安

被覆期間 2 ヶ月の育苗ハウス

年間 450 円/棟

※ 4.5 m × 25 m のハウス 補償額 18 万円の場合

近年園芸施設共済の内容が拡充され、皆さまの希望に沿った補償プランを提案できるようになりました。
ご希望の補償内容に合わせて色々なコースで試算が可能です。お気軽にお問い合わせください。



私たち収入保険に決めました！

収入保険に加入する
皆さまから、多くの声を
いただいています。

水稻
キュウリ
サツマイモ



大助かり！

補てん金で

美浜町 新庄
(農) 新庄わいわい楽舎
代表 高木 宏和 さん

▼ 水稻 18 畝、サツマイモ 2 畝、キュウリ 8 畝

昨年は、稲の病害や従業員のケガ等により収入が減少しましたが、補てん金により最低限の運転資金が確保できて大変助かりました。

従業員の少ない法人にとって、病気やケガ等で一人欠けるだけでも労働面の負担や収入に大きく影響します。収入保険はこのような農業者の努力では避けられない収入減少にも対応できるので、安心して農業経営を行っています。

あわら市 山十楽
OKAYU 岡田 英明 さん

▼ ブドウ・スモモ・クリなど 30 畝

就農 4 年目になり、観光農園を中心にドライフルーツ等販売の 6 次化にも力をいれています。

収入保険は、農産物の価格下落に対応する唯一の保険です。私の場合は市場価格よりも高い価格設定で取引を行っており、個人ごとの実績で単価を設定してくれるというのが最大のメリットだと感じています。

野菜苗
花苗
水稻



お客様のために

越前市 向新保町
服部 亨 さん

▼ 水稻 48 畝、野菜苗 21.3 畝、花苗 24.7 畝

新型コロナウイルスを通じて農業には想定外の収入減があるのだとわかり、今まで苗の補償をしてくれる保険も無かったので、自身と従業員の生活を守るために収入保険に加入しました。

万が一、新型コロナウイルスに感染すれば、従業員は自宅待機となり、苗の管理が出来なくなってしまう。苗を買っていただくお客様のためにも収入保険への加入は必須だと思います。

ぶどう
ドライフルーツ



若手にも強い味方

是非、ご検討ください!

青色申告による メリットは?

- ① **最高で 55 万円**の特別控除
があります。
(e-Tax なら **65 万円**)
- ② 損失額の**繰越し**や**繰戻し**
ができます。
- ③ **専従者給与**を**必要経費**に
算入できます。
- ④ **農業経営基盤強化準備金**
制度が使えます。
(認定農業者のみ)

もうすぐ確定申告の時期を迎えますね。
白色で申告されている方は、
令和 4 年から青色申告を始
めてみてはいかがでしょうか?



青色申告にすると、税制上のメリット
(左枠をご覧ください) がありますし、
将来、収入保険への加入もできるよう
になりますよ。



令和 4 年から青色申告を始めるなら、
3 月 15 日までに、最寄りの税務署に
「所得税の青色申告申請書」を
提出する必要があります。



青色申告を始めましょう

● 福井県が実施する補助の概要

令和 4 年の収入保険に加入する場合、保険料の 1 / 3 が
補助されます。

(目安) 基準収入 100 万円の場合

保険料額 8.9 千円のうち 2.9 千円が補助されます。

● 市町が行う補助について

各市町でも、令和 4 年の収入保険に加入する場合、保険
料等への補助が実施または検討されています。

ご注意ください

- 補助金は令和 4 年 3 月に、登録口座に振り込みます。
- 個人 (又は会計年度の開始が 1 月の法人) の加入申請手続きは
令和 3 年 12 月末日をもって終了します。
- 2 月以降開始の法人で新規加入を検討されている場合は、以下
の期限までに加入手続きをお願いします。
 - 2 月以降開始法人の場合……令和 4 年 1 月
 - 3 月以降開始法人の場合……令和 4 年 2 月

収入保険の
保険料補助が行われます
新型コロナウイルスによる農産物の需要低迷な
どを受けて、福井県と一部の市町では、令和 4 年
の収入保険加入に向けて、農業者の掛捨て部分と
なる、保険料等の補助を実施することとなりました。



地域の営みがつくってきた風景を
後世につなぐために

越前水仙振興プロジェクト『ノカテ』

代表 高橋 要 さん（福井市）

山形県出身。2015年に地域おこし協力隊として福井市に移住。

16年から福井市の実施する事業創造プロジェクト『XSCHOOL』（エックススクール）の運営メンバーとして活動。18年同事業の企画で越前水仙に出会い、水仙の魅力と土地の風景に魅了される。当時のメンバーとともに、19年3月に『ノカテ』プロジェクトを始動し、越前水仙の後継者就農の足掛かりとなるべく、生産から販売までの一連の流れを福井市越前地区で学びながら、水仙のPR活動と販売を行っている。

今回の農業見聞は、福井市で越前水仙のPRに貢献している『ノカテ』の代表高橋要さん（33歳）です。6年前に地域おこし協力隊として山形県から移住し、現在も福井市の地域づくりに参加しています。

移住の経緯

学生のころから地域づくりに興味のあった高橋さんは、大学卒業後もどこかの町で地域づくりに貢献したいと考えていました。

恩師と話す機会があり、その時に福井市で地域おこし協力隊の募集を知りました。詳しく調べてみると、自分の地域づくりの考えに近いと感じ、すぐに応募、移住を決意しました。

実際に移住してみると、地域の文化やそこに住む人たちの人柄にすぐに魅了され、イベントや集会、農業の手伝いなど毎日がとても楽しく、充実した日々を過ごしたといいます。

越前水仙との出会い

地域おこし協力隊の終了後も、福井にとどまり、福井市の実施する事業創造プロジェクト『XSCHOOL』の運営メンバーとして所属、福井市のものでづくりや暮らしの魅力を発信する手伝いを続けていました。

同プロジェクトの中で2018年に事業アイデアをグループ発表する機会があり、越前水仙について発表することとなりました。その時、越前水仙の魅力と越前海岸の風景、生産者の現状を知り、守るべきものはこれだと感じたそうです。

越前水仙のブランド化と生業づくり「ノカテ」

もっと多くの人に越前水仙の魅力を知ってもらいたいと考えた高橋さんは、発表したグループのメンバーとともに、2019年に越前水仙のブランド化と生業づくりを目指す「ノカテ」プロジェクトを開始します。

「ノカテ」とは、高橋さんが地域おこし協力隊のときに作成していた冊子の名前からきています。その冊子は、地域の高齢者に取材し、その人の半生や昔のことを紹介するもので、「いつか何処かで誰かを元気づけるような誰かの糧（かて）」を目的に作成されていました。目的の中にある『…の糧（かて）』が名前の由来で、高橋さんは「このノカテの活動も誰かの糧になれたらうれしい」と話します。

メンバーは30代〜40代の県内外の若者6名で、越前水仙の魅力を発信するビジュアルブックの発行のほか、



流通にのらない水仙の販売を行っています。

福井市越廼地区のこしの水仙生産部会の協力のもと、水仙畑の一角を借りて、自分たちで越前水仙の生産を学び、就農への課題や現状分析を行っています。

越前水仙の魅力と現状

越前水仙は、福井の県花にもなっており、越前海岸の岸壁に咲く凛とした美しさと香り豊かなところが特徴で、正月花として愛されています。

日本では千葉県房総半島、兵庫県淡路島、福井県越前海岸が3大生産地で、今季は100万本の出荷を目指しています。

こしの水仙生産部会の山本正男部会長は、現在の水仙栽培の状況について「生産者の高齢化も問題だが、鹿による被害が甚大で大変困っている」と話します。

しかし、2021年3月に「越前海岸の水仙畑の景観」が国の重要文化的景観に選定されたことで、「海岸に咲く越前水仙の風景は後世に受け継ぐべきと再認識し、守り続けるため、後継者不足の対策や獣害被害の防止に努めていきたい」と山本さん。

「高橋さん達若い人が水仙に興味を持ち、普及に頑張ってくれるのはありがたい。多くの人が少しでも興味をもって、後継者が増えてくれたら嬉しい」と話してくれました。

規格外に新しい活路を

越前水仙は、その出荷基準が厳しく、美しさが同程度であっても規格外となるものもあります。

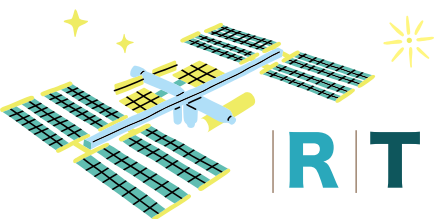
ノカテでは越前水仙として出荷できない水仙の花を利用し、ブーケや花束に加工して販売しています。昨年はプライダル店やブーケデザイナーに送付し、香りもよく、花もちもよいことから、とても好評だったとのことです。

今年もすでに全国から予約が入っており、12月中旬より順次発送予定です。

今の風景を守り、地域の暮らしと人を支える足掛かりに

「今まで当たり前と感じていることをもう一度違う目線で見てみると、その偉大さや尊さを見つけることができる。さらに、新しい打開策が見えてくるかもしれない」と話す高橋さん。「自分たちが活動することで、若い人が地域に関わる足掛かりを作り、より多くの人にその思いを共感してもらえると嬉しい。福井の当たり前にある大切な暮らしや営みを、今後が続けることの一助となれるよう、これからも地域づくりに参加し、活動を続けていきたい」と今後の意欲を話してくれました。

- 1 ノカテのメンバー。左から中川奈保さん(奈良県)、田中宏幸さん(小浜市)、高橋さん、高野麻実さん(福井市)、吉鶴かのこさん(大阪府)。ほかに加藤洋さん(滋賀県)がいる
- 2 居倉町の拠点としている古民家。空き家だったものを借り受け、今後リフォーム予定
- 3 高野さん(左)と田中さんは建築関係の仕事をしており、自分たちでリフォーム前の点検を行っているところ
- 4 山本部会長(左)と高橋さん(右)達メンバー。水仙のことだけでなく、リフォームなど様々なアドバイスをもらっている
- 5 昨年好評だった「日本水仙のブーケ」



RTK 基地局通信

RTK固定基地局設置により県内全域でスマート農機具の導入が進んでいます

令和3年3月に開局したRTK固定基地局ですが、おかげさまで多くの農業者にご利用をいただいております。

この機会に、スマート農業(高精度な自動運転)への取り組みを検討してみたいはいかがでしょうか。

RTK 固定基地局とは??

スマート農機具の精度を高めるための補正情報配信システムの1つで、安価で利用が可能です。RTK固定基地局を利用することで、高精度な作業(自動運転)が可能となります。

ポイント1》作業精度が高い

- ・ 衛星のみ 誤差：±30cm
- ・ 衛星+RTK 固定基地局 誤差：±2～3cm

ポイント2》安価で利用可能

初期導入費：約4万～10万円

利用料：28,600円/年



初めての試みだったので、不安もありましたが、組合員も利用してみると、若手は不慣れな部分も正確に作業できること、年配の組合員も運転操作の精神的な負担が軽減され、肉体的にも楽だと好評でした。そのため、組合員からの要望もあり、既存のトラクター1台に後付けの自動運転システムを購入しました。今後、田んぼの畔塗りや溝切りなどに利用していきたいと考えています。

自動運転システムを利用するための機械導入は必要ですが、行政からの助成もあり費用の面でも軽減されました。

スマート農機具の利用による便利さや省力化はその価値以上で、一度利用すると手放せなくなります。今後も利用していきたいです。

田植機2台が更新の時期だったこともあり、労働力不足などの解消に繋がればと、スマート農機具の導入を検討していました。組合員からは様々な意見もありましたが、昨年3月にアグリロボ田植機を導入しました。

初めての試みだったので、不安もありましたが、組合員も利用してみると、若手は不慣れな部分も正確に作業できること、年配の組合員も運転操作の精神的な負担が軽減され、肉体的にも楽だと好評でした。そのため、組合員からの要望もあり、既存のトラクター1台に後付けの自動運転システムを購入しました。今後、田んぼの畔塗りや溝切りなどに利用していきたいと考えています。

自動運転システムを利用するための機械導入は必要ですが、行政からの助成もあり費用の面でも軽減されました。

年配者も安心して利用できる

作付面積
大麦23畝、大豆10畝、そば13畝

坂井市上兵庫
坂井上兵庫営農組合
副組合長 宮本寿雄さん



坂井市上兵庫
坂井上兵庫営農組合
副組合長 宮本寿雄さん

既存のトラクターに自動運転システム(FJD)を導入し運用しています。当初は大豆の土寄せ作業で利用するためにGPSナビゲーションシステム(モニター上でのガイダンス)を使用していましたが、実際の作業位置と比較すると精度が十分ではなく、苦慮していました。

そのような中、県内でRTK固定基地局が開局したことを知り利用を始めました。実際に利用してみると、正確性がぐっと上がり、土寄せも簡単にでき時間短縮に繋がりました。また、麦の播種にも利用できることで、効率化も図られました。

現在、女性の従業員がオペレーターをしています。自動運転システムのおかげで、正確かつ安全に作業ができるので、安心して任せられました。自動運転での作業は、熟練者を伴わずとも作業がスムーズに行えるので、特に、労力面で負担が軽減され後継者不足にも役に立つと考えています。

女性はオペレーターも第一線で活躍できる

作付面積
水稻30畝、麦11畝、大豆7畝、そば3畝、ブロッコリー60㎡

越前町乙坂
農事組合法人みずほ
代表理事 清水則雄さん



越前町乙坂
農事組合法人みずほ
代表理事 清水則雄さん

令和4年3月上旬にスマート農機具を一堂に会した展示会を開催する予定です。ぜひご来場ください。※コロナウイルス感染状況等に伴い、中止となる場合もあります。

令和4年度農業保険関係予算要請

11月25日に令和4年度の農業保険関係予算の満額確保について、本県選出の国会議員（山崎正昭参院議員、滝波宏文参院議員、山谷えり子参院議員、稲田朋美衆院議員、高木毅衆院議員）に対し要請活動を行い、予算確保に最善を尽くすとのお応えをいただきました。

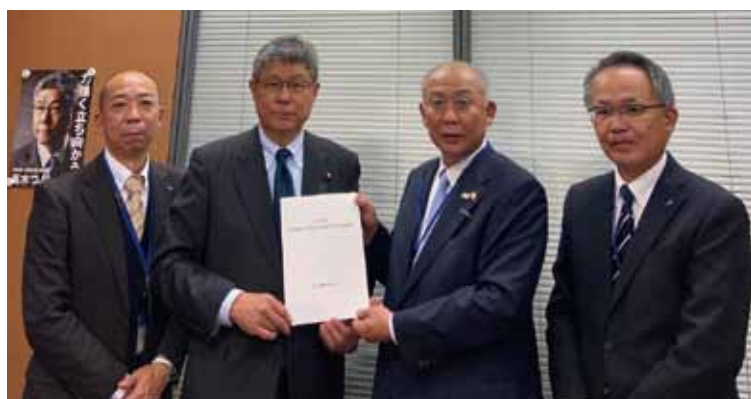
翌26日には、全国農業共済協会、全国農業共済組合連合会及び農林水産省に対し、本県の運営上の課題等を踏まえ、農業者の為になる制度改正となるよう要請しました。



山谷えり子参院議員への要請



山崎正昭参院議員への要請



高木毅衆院議員への要請

ほなみ女性の会 活動だより

令和3年度ほなみ女性の会ブロック研修会および会議が、コロナ感染症対策を徹底のもと、11月2日に開催された若狭ブロックを皮切りに、県内4ブロックで開催しました。

「ブロック別研修会」

福井ブロック、奥越ブロック

勝山市平泉寺町において、ほなみ女性の会副会長の滝本和子さん宅にて『滝本ふあーむのポン菓子で学ぶ六次産業化』の研修を行いました。

滝本さんの就農までの経緯や六次産業化の工夫などを講演いただき、工場にてポン菓子加工の工程を見学しました。

鯖丹・南越ブロック

NOSAー福井本所において、北陸農政局安全部消費生活課の石田典子氏に『よくわかる食品安全の基礎知識』について講演いただきました。

食の安全と安心の違いや摂取しすぎることで安全な食品でも体への害が出てしまう事例などを身近なものを例えに教えていただきました。

坂井・あわらブロック

坂井市春江町において、地域支援農業支援員の石丸治左門氏に『一般野菜の栽培方法及び病害虫対策について』の講演をいただきました。

現在の気象についてのお話からタマネギやジャガイモの栽培についてお話しいただき、会員からの野菜の栽培法についての疑問や対策を丁寧に解説いただきました。



坂井・あわらブロック研修会の様子

若狭ブロック

NOSAー福井若狭支所において、若狭町の和伊和伊亭の竹中淳二氏による『調理者から考える家庭の旬野菜について』の講演をいただきました。

会員の持ち寄った野菜を使い、野菜の切り方から、料理の仕方などを教えていただき、少しの工夫で素材の味や良さを引き出すテクニックを教えてくださいました。



集金業務に関するお知らせとお願い

NOSAIでは、日頃よりコンプライアンスの徹底と運営の健全化・効率化に取り組んでおります。

つきましては、現金の取扱いについて、防犯・安全確保の対策及び手続の不備等防止を図る観点から、これまで行っておりました訪問による集金業務を令和4年より原則廃止とさせていただくことといたします。

組合員の皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

今後は3つの納入方法からお選びください

① **口座振替をご利用ください**

指定口座を事前に登録いただくことで、口座振替による掛金の納入ができます。

② コンビニでも納入できます

専用の納入用紙を使いコンビニエンスストアで掛金を納入することもできます。

③ NOSAI へ直接、持参していただくこともできます

NOSAI 本所、支所、連絡所でも掛金の納入ができます。



農業共済新聞は、「農家に学び、農家に返す」を創刊以来の編集方針として毎週発行しています。

収入保険や農業共済制度の詳しい情報のほか、農政から暮らしまで幅広い分野を網羅した紙面を通して、農業者の経営と暮らしに役立つ情報を掲載しています。

全国統一版の紙面には、1週間に起きた農業に関わるニュースを集約したページや女性農業者の声、最新技術や資材の紹介などその時期にあった情報がわかりやすく掲載されています。



あなたの
農業経営と
暮らしのそばに

最後のページは北陸・北信越版として、地元の暮らしや農業者の声、情報などをわかりやすく編集し、掲載しています。

毎週職員が県内各地の農業者取材し、記事を作成・編集していますので、毎号必ず福井県の記事が掲載されています。

発行：毎週水曜日(月4回)

購読料：5,520 円 / 年

※料金は消費税と送料込み

2か月間無料試し読みキャンペーンも実施中です。この機会にぜひお申込みください。

申込み・お問合せはこちらまで：
〈企画グループ〉

☎ 0778-53-2701 (代)

若手農家が結集 思い一つに
農地を守り続ける



防除用ヘリの前で田中さん^②と宮崎さん

水稲育苗・防除など作業受託
情報共有し知識向上図る

[illegible]

表紙紹介

福井市居倉町

撮影当日はまた水仙が咲き始めたばかりだったため、満開の水仙畑での撮影とはなりませんでしたが、試作品のために収穫してあった水仙を持っていたいただき、表紙を撮影しました。待ち合わせ場所が分からず道に迷っていたところ、藤崎さんに出会い、「ノカテ」の拠点である古民家の場所を教えてくださいました。

藤崎さん夫婦も長年越前水仙の栽培に携わっており、高橋さんも水仙について色々と教わっているとのこと。

自宅横の倉庫で、越前水仙の出荷選別作業を行っている中にもかかわらず、快く撮影に協力いただき、素敵な笑顔を見せていただきました。



ノカテのメンバーと藤崎武彦さん夫妻

農作業事故を防ぎましょう！

(公社) ふくい農林水産支援センターでは、農作業事故防止に関する研修を実施しています。まずは事故の多い「刈払機」について、安全衛生教育、メンテナランス、操作方法を全て研修できる準備を進めています。このうちの安全衛生教育は国の基準による内容であり、2月に2回開催し、修了証を発行しますので活用下さい。

詳しくは左記までお問い合わせ下さい。

(公社) ふくい農林水産支援センター

☎ 0776-21-8311

担当：巻田、豊田



今後の予定

- 1月
 - ・ 共済連絡員会議(2月まで)
- 2月
 - ・ かき共済金支払い
 - ・ 収入保険令和3年分確定申告の決算書等提出
- 3月
 - ・ 大豆・そば共済金支払い
- 4月
 - ・ 水稻加入申込期限(5日)
 - ・ 夏そば加入申込期限(10日)
 - ・ ぶどう加入申込期限(10日)
 - ・ 大豆(単作)加入申込期限(30日)

編集後記

今回の特集では、福井県内のお雑煮について、仁愛大学の佐藤准教授や小浜市の若狭おばま食文化館の皆様、そして農業者の皆様にご教授いただきました。福井県の中でも様々なお雑煮があり、地元福井のことをまた一つ知ることができました。また一つ知らない福井を知ることができ、とても良い体験をさせていただきました。

今年も、新しい発見を皆様に提供できるよう、頑張っていきたいです。

(土田美香)



昨年初めて咲いたサトイモの花。多くの人が吉兆のきざしと見物に来ていた。



家の前の畑で「野菜の成長を見るのが楽しい」と話す宮本さん

ふくいのHAPPY 家庭菜園 Vol.6

宮本 久美さん（福井市）

「今は準備段階。これからのセカンドライフを楽しみたい。」と話すのは宮本久美さん（66歳）。2020年に定年退職し、父母の管理していた畑や山を継ぎ、常時10種ほどの野菜を作っています。

幼いころから農作業をする父の背中を見て育った久美さんは、就職してからも手伝いをしていました。が、退職を機に本格的に農業に取り組むことを決意。父母が大切に管理してくれていた畑や山は子供の頃とは見え方が異なり、とても新鮮な景色で毎日が楽しいといえます。

昨年、獣害に遭いにくい作物としてサトイモを育てたところ、7月頃に花を咲かせました。地元メディア紙が『吉兆のきざし』と取り上げたことがきっかけとなり、多くの人がサトイモの花を見に久美さんの畑を訪れたということです。

「吉兆のきざし」というサトイモの花が見れたことは、いいことがあるかもと嬉しくなった。これから少しずつ自分なりの工夫を取り入れ、農業を楽しんでいきたいです」と笑顔で話してくれました。

農地中間管理機構からのお知らせです！

農地中間管理機構を通じて担い手に農地を貸し出せば

機構集積
協力金の交付

固定資産税を
2分の1に軽減

相続税・贈与税の
納税猶予

農業者年金の
加算（加算付年金）

上記の適用を受けられます。

※適用には要件がありますので
詳しくは下記、または市町の農政担当課、
お問い合わせください。

まずは将来の地域農業・
農村のあり方について
皆さんで話し合しましょう！



■お問い合わせ 公益社団法人ふくい農林水産支援センター（福井県農地中間管理機構）
〒910-0003 福井市松本3丁目16-10 ☎ 0776-21-8313

発行

安心のネットワーク
NOSAI 福井
福井県農業共済組合



<ご意見・お問い合わせ>



<facebook NOSAI福井>



いいね！
シェアお願いします。

本 所

☎ 0120-83-2701
〒916-0036 鯖江市横越町18-41-1
TEL (0778) 53-2701(代)
FAX (0778) 53-2705
■福井・奥越グループ TEL (0778) 53-2702
福井市・大野市・勝山市・永平寺町
■丹南グループ TEL (0778) 53-2704
鯖江市・越前市・池田町・南越前町・越前町
■坂井・あわらグループ TEL (0778) 53-2712
坂井市・あわら市
■家畜診療所 TEL (0778) 53-2719

若狭支所

☎ 0120-56-5312
〒917-0241 小浜市遠敷49-1-2
TEL (0770) 56-5300(代)
FAX (0770) 56-5306
敦賀市・小浜市・美浜町・高浜町・おおい町・若狭町
奥越連絡所 〒912-0083 大野市明倫3-37
TEL (0779) 64-4020
坂井連絡所 〒919-0526 坂井市坂井町上兵庫40-15
TEL (0776) 72-0078
FAX (0776) 72-0085
ホームページアドレス <https://www.nosai-fukui.jp/>